脳脊髄外科

権藤 学司　病院長

■ **権藤 学司　病院長**

医学博士,

脳神経外科専門医,

脳卒中専門医,

脊椎脊髄外科専門医,

脊髄外科学会指導医

■ **國井 紀彦　脳神経外科部長**

脳神経外科専門医,

脳卒中専門医

診療科の紹介

多くの病院の脳神経外科では脳疾患を中心に診療しているが,当科では脊髄疾患や末梢神経疾患の診療も行っているので「脳脊髄外科」と標榜することにした.

神経学的診察を重視し,頭部CTやMRI,脊髄MRI,末梢神経伝導検査などの検査を加えて,脳・脊髄・末梢神経疾患を診断し治療法を検討している.例えば,手が痺れる場合は,脳梗塞などの脳疾患が原因となる場合もあるが,変形性頚椎症などの脊髄疾患,手根管症候群などの末梢神経障害が原因となることもある.

活動状況

東海大学から徳洲会に事業承継され,2023年3月に湘南大磯病院として再出発した際には,脳神経外科は非常勤医師が週1日だけの勤務だった,2024年から権藤学司が病院長として赴任し,2025年3月より國井紀彦も赴任して常勤医2名体制となった.外来は月曜,火曜,水曜,金曜,土曜日（隔週）の午前中で,木曜日は手術日のため休診としている.3階C病棟を中心に15～20名入院患者の診療も行っている.

頭部外傷,脳卒中,脳腫瘍,椎間板ヘルニア,脊柱管狭窄症,手根管症候群などの診療を行っており,入院患者は頭部外傷,脊髄疾患,脳卒中が多くを占める.

2025年4月1日付けで,日本脳卒中学会より一次脳卒中センター（PSC）の認定を受けた.

展望

現在は血管内治療を行える脳神経外科医が不在で,脳梗塞に対する血栓回収療法ができない.

今後はこの分野の医師を確保して脳卒中患者の診療の幅を広げたいと考えている.

新病院が完成した際には,カテーテル治療ができる手術室が設置予定であり,血管内治療の充実を図りたいと考えている.

診療実績

2025年の入院患者数は136名で,内訳は頭部外傷52例,脊椎脊髄疾患38例,脳血管疾患24例,機能的疾患10例,認知症9例,その他3例であった.

手術は慢性硬膜下血腫が14例,脊髄手術が4例,その他が3例であった.

学術業績

原著論文：益子悠, 渡辺剛史, 田中貴大, 田中雅彦, 堀田和子, 小倉将, 権藤学司. 当院における特発性脊髄硬膜外血腫の臨床分析と手術適応の考察. 脊髄外科 39,47-53, 2025.

その他

なし